

令7年度 第1回 石川中央都市圏地域公共交通協議会 議事概要

【概 要】

日 時：令和7年11月4日（火） 15時00分～

場 所：金沢歌劇座 大集会室

【次 第】

1 開 会

2 挨 捶

3 議 事 等

報告第1号 令和6年度収支決算報告

報告第2号 石川中央都市圏地域公共交通計画 達成指標の進捗報告

報告第3号 北陸鉄道線を中心とした広域公共交通ネットワーク再生戦略の進捗報告

① 北陸鉄道線鉄道事業再構築実施計画の推進について

② 北陸鉄道株式会社からの報告

（鉄道線利用状況、令和7年度の整備事業・利便性向上策の進捗等）

4 閉 会

【会議の様子】



【議事記録】

1 開 会

2 挨 捶

（会長）

本日は天気に恵まれ、2、3日はよい天気が続くようである。連休もよい天気であれば出掛けられてよかったですと思うが、なかなかそうはいかない。

さて、先月、内閣が総入れ替えし、新しい総理大臣となったが、それを期待してかは分からぬが、日経平均が高値を更新し5万円を超えた。日本だけでなく、ニューヨークのダウも高値の更新が続いている。日本は本当にこれほど景気がよいのかと不思議に思う。世界で

は紛争が起きているほか、米国関税も15%に下げられたものの高い関税である。30年前のバブルの頃は、日経平均が3万7,000～8,000円だったかと思うが、その頃は円が非常に強く、80円台や90円台前後だったかと思う。ある意味、非常に日本に経済力があった。ところが今は、円が150円台。大ざっぱに言うと、半分ぐらいの価値に下がってしまって、輸入するものがすべて高く、それが物価高に繋がっている。それに合わせて給料も上がってくれればよいが、なかなか厳しい問題である。

先日の新聞に、北陸鉄道の金沢都市圏の運賃が10円ほど上がるという記事があった。10円上がるということは、値上率5%ぐらいなので、毎年、2、3%給料が上がっていかなければそんなものなのかもしれないが、公共交通の運賃が上がれば利用者が少なくなり、バス離れが進むのではと危惧している。

石川中央都市圏地域公共交通計画について、今年度が中間年ということで、2年間経過した。本日は計画の進捗についての報告があるが、令和9年度の目標に向けて、皆さん一緒に頑張っていかなければいけないと思う。報告内容を確認し、達成できている指標、達成できていない指標とあると思うが、それについてご意見を頂戴できればと思うので、よろしくお願ひしたい。

3 議事等

報告第1号 令和6年度収支決算報告

(会長)

ただいまの報告に対してご意見、ご質問等はあるか。4ページの事業報告の「プロミスキップ」について、私自身まだ視聴はしていないが、ポスターの絵面を見ると、「プロミ・スキップ」と「スキップ」の前で区切れているように見えるが。

(事務局)

「プロミスキップ」という名称は、約束を意味する「プロミス」と「切符」をつないだ造語であるが、「スキップ」するような楽しい気持ちで「約束している人や場所に会いに行く」という意味も持たせているので、敢えてどちらの意味とも読めるようなデザインとなっている。

報告第2号 石川中央都市圏地域公共交通計画 達成指標の進捗報告

(会長)

ただいまの報告に対してご意見、ご質問等はあるか。

(A委員)

全体的に数値だけでなく、その数値による影響、アウトカムの部分までお示しいただけるとより分かりやすいと思う。例えば、先ほどの報告第1号の中でも、YouTubeで約1.5万回再生という報告があったが、実際に鉄道の利用にどれだけ繋がったのか、追いかける調査までしてもらえたなら。

指標に関して、10 ページの「公共交通カバー率」は 88%となっているが、鉄道駅から 500m、バス停から 300m という基準があるのであれば、具体的にどのエリアをカバーできているのかが示されているとよい。また、12 ページの「市町連携のモビリティマネジメント事業の実施件数」では、2 件という数字ではなくて、その事業により実際に住民の意識がどう向上していったのか。また、「運転手確保の支援事業実施数」についても、支援事業の実施自体も大事なことだと思うが、それによってどの程度の扱い手確保に繋がったのか、そうした部分まで分かるとよい。

(事務局)

おっしゃるとおり、指標の数値の推移だけでなく、その先にどう繋がったのかという部分までお示しできるとよいと思うが、実際にはなかなかそこまで追いかけて把握し示すことが難しい現状もあり、今後、どこまで効果を示すことができるのか、可能な範囲で検討して参りたい。

(会長)

令和 9 年の目標に向けての進捗状況について、13 ページの総括のとおり、指標全体としては、概ね順調に推移しているように見えるが、個別の指標によっては、かなり厳しい数値もあるように見受けられる。例えば、11 ページの「パーク・アンド・ライド利用者数（設置台数）」では、目標は 1,600 人（1,950 台）となっているが、残り 2 年半で達成できるのか。台数は 1.5 倍、利用人数は 2 倍以上増やす必要がある。

また、10 ページの「路線バス・コミュニティバスの路線数・便数」についても、現状維持を目指すとあるが、なかなか厳しいように思う。今の状況では交通事業者に頑張ってもらうだけでは難しいと思うので、この地域公共交通協議会で、どこまで支援できるかがポイントになると思う。以上の点について、事務局としてどのように考えているか。

(事務局)

「パーク・アンド・ライド利用者数（設置台数）」について、目標値を達成できるかは厳しい状況であるが、取組としては非常に重要なものだと思っているので、関係市町と連携しながら、引き続き取組を推進していきたいと考えている。「路線バス・コミュニティバスの路線数・便数」については、やはり運転士不足が大きな要因であると認識しているので、交通事業者と連携しながら、採用活動への支援など、自治体としてもバックアップしていくたいと考えている。

報告第 3 号 北陸鉄道線を中心とした広域公共交通ネットワーク再生戦略の進捗報告

- ①北陸鉄道線鉄道事業再構築実施計画の推進について
- ②北陸鉄道株式会社からの報告
(鉄道線利用状況、令和 7 年度の整備事業・利便性向上策の進捗等)

(会長)

ただいまの報告に対してご意見、ご質問等はあるか。

(B委員)

38 ページの「学生支援」について、石川線の割引きっぷのことが書かれているが、浅野川線に同様のきっぷがない理由を教えていただきたい。

(C委員)

もともと石川線の利用が少ないとから、その利用促進策として実施している経緯があり、浅野川線においては、土日祝限定にはなるが、往復 800 円が 500 円になる一日乗り放題のお得な「エコきっぷ」を販売しており、休日の学生利用に繋げていけたらと考えている。

(B委員)

内灘駅で浅野川線を利用する学生は、内灘から金沢市内まで通学している学生がほとんどなので、ぜひ導入を検討いただくようお願いしたい。

(D委員)

21 ページにおいて、みなし上下分離導入による効果として、令和 21 年度の鉄道利用者数の見込が 3,141 千人となっているが、少子高齢化で人口減少が進む中でこれだけ増えるというのはどのような根拠で算出しているのか。

(事務局)

おっしゃる通り、人口減少の傾向にはあるが、様々な利用促進策を進めていく予定であり、例えば、石川線の増便・ダイヤ変更などにより、これまで利用していなかった方に新たに利用いただくことによる増加等も見据え、見込みとして算出させていただいている。

(D委員)

15 年という期間の中で、こういったことをするからこれだけ数字が増えるといった具体策の部分をもっと強く示していただければと思う。

(会長)

39 ページの「駅カルテ作成」について、これは紙を掲示するイメージなのか、それともネットで見れるものなのか、あるいは両方なのか、そのあたりいかがか。

(C委員)

駅においては、紙のものを掲示する想定だが、ホームページの各駅の紹介の部分でも閲覧できるようにしたいと考えている。

(会長)

両方で見れることは非常に便利だと思うので、何年後か、少なくとも 3 年後くらいには内容の更新もしてもらえたらしい。

報告案件は以上となるが、その他にご意見等はないか。

(D委員)

34 ページの停車場整備について、日御子駅の自転車用斜路の整備の写真があるが、手すりの方に斜路があると、お年寄りの利用者が手すりを使いにくくならないか。雨が降ったり

雪が降ったりすると滑りやすくなるので、できるならば、斜路は真ん中にして、手すりを使えるようにしてほしい。実際に使う人に対して、バリアフリーと言われるような、思いやりが足らないように思うので、よろしくお願ひしたい。

(会長)

これはもう全駅整備してしまっているのか。

(C委員)

そうである。実は整備にあたっては、階段中央ということも検討したが、雪で覆われたときに斜路が見えなくなり危ないのではという懸念があり、敢えて端に寄せた経緯がある。

(会長)

私は利用者の意見が一番だと思うが、お年寄りが不便を感じるのか、あるいは自転車の利用者にとっては利用しやすいのか。右利き左利きでどうかということもあるようだ。

(E委員)

北陸鉄道の路線バスについて、今、外国の方が多く乗られているが、運転士が上手に英語を使いながら混雑しないように迷わないように案内されている姿を何度か目にしており、教育をきちんとされていると感じた。日本に来た外国人にとって、こうした親切な対応はよい思い出となる。

(会長)

交通事業者には、引き続き、企業努力を進めていただければと思う。

最後に色々とご意見を頂いたが、次回の協議会でもぜひ活発にご意見を頂戴できればと思う。

4 閉　　会